

---

# これが世に言う悪魔らしい～序章～

かいおう

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

これが世に言う悪魔らしい〜序章〜

### 【Nコード】

N8367V

### 【作者名】

かいおう

### 【あらすじ】

17歳の主人公、橋本翔はある日不運な事故で死んでしまう。だが、ルイザと名乗る悪魔と契約すると生き返れると知り…！  
翔とルイザとの短くも長い不可思議な物語が今始まる。

## 静かな部屋

「ここは何処？」

気が付いたら見知らぬ場所にいた。すると、誰かがいる気配がした。

「どうも初めまして。私はルイザと申します、以後お見知りおきを…。あ、ちなみに貴方は先ほどお亡くなりました。生き返るには私と契約しなければなりません。生き返りたいですか？」

…死んだ？…：…そうだ、思い出した。僕はさっき車に跳ねられて死んだんだ。そう気付いてから生き返りたい、そう返事をするのにそう時間はかからなかったと思う。

まだたくさん生きてやりたい事があるからだ。

「生き返りたい。」

…すると少し笑いを含んだ声で彼は言った。

「ほう…いい返事ですね、即答ですか。」

そんなの当たり前だ。…そこで疑問が出た。彼は誰だ…？何者だ？まだ名前しか知らない。

そして僕は少し小さな声で彼に聞く。

「貴方は…いつたい何者ですか？」

しばらくの沈黙。だがしばらくすると彼はしゃべり始めた。

「……では軽く自己紹介でもしましょうか。私はこう見えて一応上級“悪魔”。人の首を捻るなど容易く出来ますよ？なのであまり反抗はしない方がいいかと。」

彼は尻尾を少し振りながら静かに答える。

「悪魔？」

僕は驚いた。なぜなら、彼はどう見ても悪魔：僕の想像の中での“悪魔”には到底似ても似つかない容姿をしているからだ。

紺色に近い黒髪に紅の瞳。体はスラツとし、実に淑女達にもてそうな顔立ち。悪魔っぽいところと言えば、ちらちらと脚の間から見える尻尾だけだ。

すると彼が少し大きな声で言う。

「おっと、契約の準備が整った様ですね。」

こちらを向いている。そろそろ行かなければならないみたいだ。生き返る為に必要な“契約”とやらをするため

静かな部屋に扉の閉まる音が響いて消えた。

〈第一章に続く〉

## 静かな部屋（後書き）

はじめましてかいおうと申します） \*、（  
あとがきまで見て頂くとは光栄です。

ここまで見るとシリアスな感じに見えますが、これからは楽しくしていかうかと思っていますw

これからも楽しんでもらえたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8367v/>

---

これが世に言う悪魔らしい～序章～

2011年10月9日15時22分発行